

日本共産党

辻井タカ子後援会だより

2005年
4月

第91号

辻井タカ子のホームページアドレス
<http://www.t-takako.jp>

発行者：日本共産党富木島後援会
連絡先：堀本：604-5820
：辻井：604-7914

市長選挙

ひらた哲彦さんと 決定！



24日投票

4年前の東海市長選挙に発足した「市民にあたたかい東海市をつくる会」は、無所属のひらた哲彦さんを予定候補とすることを発表しました。日本共産党はひらた哲彦さんを推薦します。

住所	東海市富木島町道才 77-7	年齢	62歳
出身	岐阜県関市生まれ 岐阜県立関高等学校卒		
職歴	・八幡製鉄所（名古屋入社） ・1970年新日鉄発足にともない名古屋製鉄所配属 ・2002年12月定年退職		
経歴	・新日鉄労組役員選挙で一貫して立候補し、職場要求の労災補償と安全問題、サービス残業是正などに努力する ・東海市子ども会連絡協議会副会長、愛知県子ども会連絡協議会常任理事など歴任		
家族	妻、長女、長男	趣味	山歩き、写真

ひらた哲彦さんをかこむ会

4月10日（日）
午後1時30分～
農業センター1階



「市民にあたたかい東海市をつくる会」事務所のお知らせ
事務所：加木屋町唐畑1-1
0562-31-2930



辻井タカ子議員の報告

市民一人あたりの県内平均より 教育費は2,500円少なく

土木費は25,000円多いのが東海市です！

後援会のみなさん

今国会は、定率減税の廃止、介護保険の見直し、障害者自立支援法による負担導入など、国民の負担を増やすことばかりです。さらに、消費税率を上げることや、憲法を変え「戦争ができる国」にすることまで議論されています。このような国の政治では、私たちの暮らしは守れません。

東海市の財政力は全国でも10位前後を推移しており、この豊かな財政力があれば、福祉や教育を充実させ、国の悪政から市民の暮らしを守ることができ、他市町の住民からもうらやましがられる自治体になっても不思議ではありません。

しかし、県道の推進には、市事業としてまで市費の投入をしますが、市民要望に対してはお金が無いと後回しになっています。

みなさん、鈴木あつお市長は、「子どもたちが夢を持てるまちづくり」を重点施策に掲げています。でも、教育費は県内31市の平均と比較し、市民一人あたり2千5百円も少なく、一方、土木費は約2万5千円も多いのが実態です。

「市民にあたたかい東海市をつくる会」のひらた哲彦さんは、財政の流れを土木中心から暮らし・教育中心に切り替え、市民の暮らしを応援するあたたかい市政にするため市長選に立候補を決意されました。ひらた哲彦さんは、富木島町に住み、新日鉄に勤務し労働運動や、地域の子ども会活動に参加するなど元気いっぱい誠実な人です。24日が投票日になります。お力添えをよろしくお願いいたします。



市民アンケートが400通を超えて返っています。その一部分を紹介します。

- 仕事すればするほど税金を払い、年金だけでは生活できないので困っています。（年金生活者）
- 町内ごとの避難場所の表示が必要と思います。

東海市でも「憲法9条を守ろう」の準備会が進められ、4月3日には文化センターで学習会が行われました。準備会では多くの方が会員になってもらえるよう呼びかけています。